

(トップページ:<http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/>)

(五大石油会社の業績比較:<http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/ExxonShellBp.html>)

(石油:<http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/oil.html>)

マイライブラリー:0337

(注)本稿は2014年2月9日から3月17日まで13回にわたり「内外の石油情報を読み解く」に掲載したレポートをまとめたものです。

2015.3.18
前田 高行

五大国際石油企業2014年度業績速報シリーズ

<u>目次</u>	<u>頁</u>
I. 各社の業績概要	2
1. ExxonMobil の2014年第4四半期(10-12月)及び通年(1-12月)の業績	2
2. Shell の2014年第4四半期(10-12月)及び通年(1-12月)の業績	2
3. BP の2014年第4四半期(10-12月)及び通年(1-12月)の業績	3
4. Total の2013年第4四半期(10-12月)及び通年(1-12月)の業績	4
5. Chevron の2014年第4四半期(10-12月)及び通年(1-12月)の業績	4
II. 2014年の業績比較	5
1. 売上高	5
2. 利益	5
3. 売上高利益率	6
4. 設備投資額	6
5. 石油及び天然ガス生産量	7
(1)石油生産量	7
(2)天然ガス生産量	7
(3)石油・天然ガス合計生産量(石油換算)	7
III. 7カ年(2008-2014年)業績推移の比較	7
1. 売上高	8
2. 利益	8
3. 売上高利益率	9
4. 設備投資	10
5. 石油及び天然ガス生産量	10
(1)石油生産量	10
(2)天然ガス生産量	11
(3)石油・天然ガス合計生産量(石油換算)	11

ExxonMobil など国際石油会社(International Oil Companies, IOCs)の昨年第4四半期(10-12 月)及び年間(1-12 月)の決算が発表された。本稿では ExxonMobil の他、Shell, BP(英), Total(仏)及び Chevron(米)の主要 5 社を取り上げ、各社の売上高、利益、石油・ガス生産量、投資額等を概観し、さらに 5 社の業績比較を行う。

I. 各社の業績概要(末尾表 1-D-4-20 参照)

1. ExxonMobil の 2014 年第 4 四半期(10-12 月)及び通年(1-12 月)の業績

* 同社ホームページ:

<http://news.exxonmobil.com/press-release/exxonmobil-earns-325-billion-2014-66-billion-during-fourth-quarter>

(1)売上高

ExxonMobil の 2014 年 10-12 月の売上高は 873 億ドルであり、また通年売上高は 4,119 億ドルであった。前年同期比ではそれぞれ-21%, -6%の減収であった。

(2)利益

10-12 月期及び通年の利益はそれぞれ 66 億ドル及び 325 億ドルであり、前年同期と比較すると 10-12 月期は-21.3%、通年では-0.2%であり、四半期ベースでは大幅な減益であったが、通年では微減にとどまっている。通年利益のうち上流部門の利益は 275 億ドルであり全利益の 85%を占めている。上流部門の利益が大きな割合を占めているのは ExxonMobil 以外の他社も同様である。

(3)売上高利益率

通年ベースの売上高利益率は 7.9%であり、前年の 7.4%より向上している。

(4)石油・ガス生産量

昨年の ExxonMobil の石油生産量は日量平均 2,111 千バレル(以下 B/D)であり、前年(2013 年)比 4.1%減であった。天然ガスは日量平均 11,145 百万立法フィート(以下 mmcf)であり、これは前年比 5.8%減である。

石油と天然ガスの合計生産量は石油換算で 3,969 千 B/D となり、2013 年比では-4.9%である。

(5)設備・探鉱投資

2014 年の年間の設備・探鉱投資額は 385 億ドルであり、これは 2013 年比で 9.3%の減少であった。

2. Shell の 2014 年第 4 四半期(10-12 月)及び通年(1-12 月)の業績

* 同社ホームページ:

<http://www.shell.com/global/aboutshell/media/news-and-media-releases/2015/fourth-quarter-2014-results-announcement.html>

(1)売上高

Shell の 2014 年 10-12 月の売上高は 942 億ドルであり、また通年売上高は 4,313 億ドルであった。前年同期比ではそれぞれ-15.5%、-6.1%の減収である。

(2)利益

10-12 月期及び通年の利益はそれぞれ 7.7 億ドル及び 151 億ドルであり、前年同期と比較すると 10-12 月期は-56.6%、通年では-8.1%といずれも減益となっている。通年利益のうち上流部門の利益は 165 億ドルでありその他下流部門等の損失をカバーしている。

(3)売上高利益率

通年ベースの売上高利益率は 3.5%であり、前年の 3.6%とほぼ同じである。

(4)石油・ガス生産量

昨年の Shell の石油生産量は日量平均 1,484 千 B/D であり、前年(2013 年)比 4.7%減であった。天然ガスは日量平均 9,259mmcf/d であり、こちらも前年比 3.7%減である。

石油と天然ガスの合計生産量は石油換算で 3,080 千 B/D となり、2012 年比では-3.7%である。

(5)設備・探鉱投資

2014 年の年間の設備・探鉱投資額は 373 億ドルであり、これは 2013 年比で 18.9%の減少であった。

3. BP の 2014 年第 4 四半期(10-12 月)及び通年(1-12 月)の業績

* 同社ホームページ:

<http://www.bp.com/en/global/corporate/press/press-releases/fourth-quarter-2014-results.html>

(1)売上高

BP の 2014 年 10-12 月の売上高は 740 億ドルであり、また通年売上高は 3,536 億ドルであった。前年同期比では 10-12 月期は-21%の減収、通年ベースでも-6.7%の減少である。

(2)利益

10-12 月期は 44 億ドルの損失、通年では 38 億ドルの利益であり、前年同期と比較すると 10-12 月期は 4 分の 1 以下、通年では 6 分の 1 以下である。通年利益のうち上流部門の利益は 167 億ドルであり利益全体の 70%を占めている。

(3)売上高利益率

通年ベースの売上高利益率は 1.1%であり、前年の 6.2%から大幅に下落している。

(4)石油・ガス生産量

昨年の BP の石油生産量は日量平均 1,106 千 B/D であり、前年(2013 年)比 6%減であった。天然ガスは日量平均 6,016mmcf/d であり、前年比-3.9%である。

石油と天然ガスの合計生産量は石油換算で 2,143 千 B/D となり、2013 年比では-5%である。

(5)設備・探鉱投資

2014 年の年間の設備・探鉱投資額は 238 億ドルであり、これは 2013 年比で 35%減であった。

4. Total の 2013 年第 4 四半期(10-12 月)及び通年(1-12 月)の業績

* 同社ホームページ:

<http://www.total.com/en/media/news/press-releases/fourth-quarter-and-full-year-2014-results>

(1)売上高

Total の 2014 年 10-12 月の売上高は 525 億ドルであり、また通年売上高は 2,361 億ドルであった。前年同期比では 10-12 月期は 19.2%、通年ベースでは-6.2%の減収である。

(2)利益

10-12 月期は 28 億ドル、通年では 128 億ドルの利益であり、前年同期と比較すると 10-12 月期は -17.3%の減益、通年でも-10.2%の減益である。通年利益のうち上流部門の利益は 105 億ドルである。

(3)売上高利益率

通年ベースの売上高利益率は 5.4%であり、前年の 5.7%より悪化している。

(4)石油・ガス生産量

昨年の Total の石油生産量は日量平均 1,034 千 B/D であり、前年(2013 年)比 11.4%減であった。天然ガスは日量平均 6,063mmcf/d であり、前年比 2%減である。

石油と天然ガスの合計生産量は石油換算で 2,146 千 B/D となり、2013 年比 6.7%減である。

(5)設備・探鉱投資

2014 年の年間の設備・探鉱投資額は 241 億ドルであり、これは 2013 年比で 6.7%の減少であった。

5. Chevron の 2014 年第 4 四半期(10-12 月)及び通年(1-12 月)の業績

* 同社ホームページ:

<http://www.total.com/en/media/news/press-releases/fourth-quarter-and-full-year-2014-results>

(1)売上高

Chevron の 2014 年 10-12 月の売上高は 461 億ドルであり、また通年売上高は 2,120 億ドルであった。前年同期比ではそれぞれ-17.9%、-7.4%の減収である。

(2)利益

10-12 月期及び通年の利益はそれぞれ 35 億ドル及び 192 億ドルであり、前年同期と比較すると 10-12 月期は-29.6%、通年では-10.2%といずれも減益となっている。通年利益のうち上流部門の利益は 169 億ドルであり全利益の 88%を占めている。

(3) 売上高利益率

通年ベースの売上高利益率は 9.1%であり、前年の 9.4%より下回っている。

(4) 石油・ガス生産量

昨年の Chevron の石油生産量は日量平均 1,709 千 B/D であり、前年(2013 年)比 1.3%減であった。天然ガスは日量平均 5,167mmcf/d であり前年比 0.5%減である。

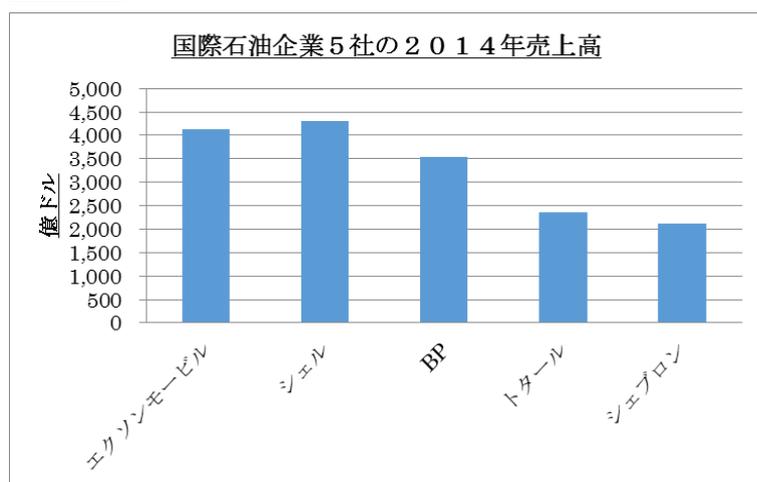
石油と天然ガスの合計生産量は石油換算で 2,571 千 B/D となり、2013 年比では 1%減である。

(5) 設備・探鉱投資

2014 年の年間の設備・探鉱投資額は 403 億ドルであり、これは 2013 年比で 3.7%減である。

II. 2014年の業績比較

1. 売上高



ここでは ExxonMobil, Shell, BP, Total 及び Chevron 5社の2014年の売上高を比較する。5社の中で売上高が最も大きいのは Shell の4,313億ドルであり、これにつづのが ExxonMobil の4,119億ドルである。なお後述する7カ年(2008-2014年)業績推移で詳しく触れるが、2012年までの売上高は ExxonMobil がトップであったが、2013年、2014年は2年連続で Shell

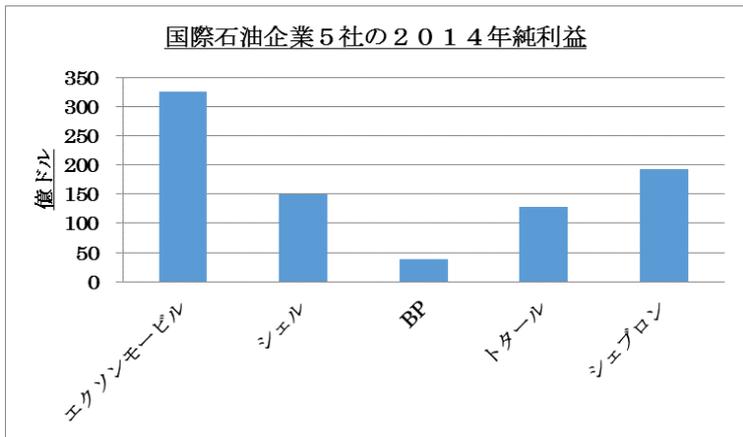
がトップである。但し Shell は利益面では5社中4位でかなり見劣りしている(次項参照)。

Shell、ExxonMobil に次いで売上高が大きいのは BP の3,536億ドルであるが、これはシェルの約 8割である。Total、Chevron の売上高はそれぞれ2,361億ドル及び2,120億ドルで、トップの Shell の売上高のほぼ半分である。

2. 利益

ExxonMobil が5社の中で利益額が最も大きく325億ドルである。

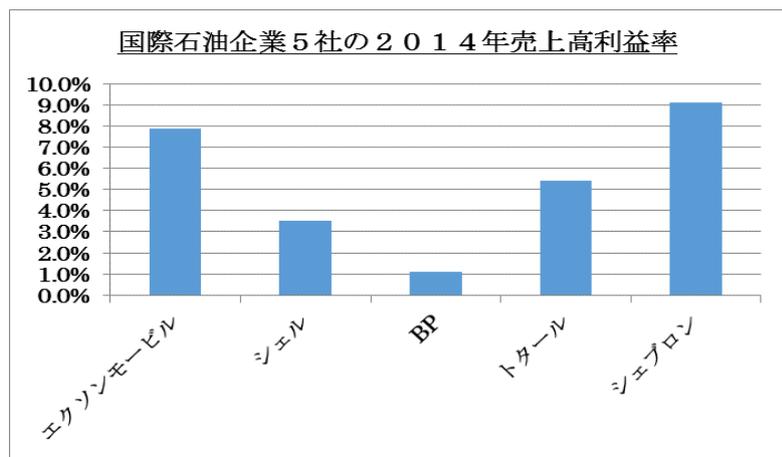
ExxonMobil に次ぐ利益を上げたのは売上高(前項参照)では5社で最も小さい Chevron であり、同



社の利益額は192億ドル、ExxonMobil の6割である。Shell と Total の利益は各々151億ドルおよび128億ドルであり Shell は ExxonMobil の2分の1弱、Total は4割弱である。これに対してBP の利益額は38億ドルにとどまっており、5社の中では極めて低い。BP の利益は ExxonMobil の1割強にすぎず、Shell の4分の1である。BP は売上高でこ

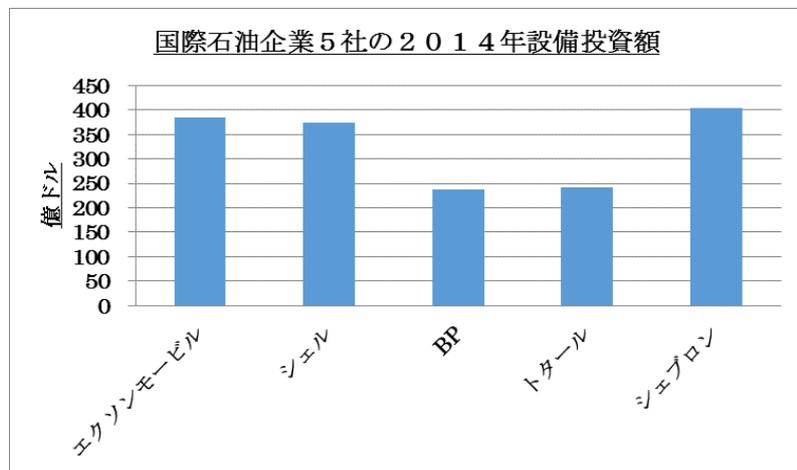
そ Shell あるいは ExxonMobil の8割程度を維持しているが利益では大きく見劣りしている。BP はメキシコ湾の原油流出事故およびロシアでの合併事業を巡るトラブル等で近年利益が低迷し、しかも毎年の利益はシーソーゲームのごとく浮沈が激しい。今回極端に利益が減少しており同社の先行きは不安感がぬぐえない。

3. 売上高利益率



売上高と利益の比率である売上高利益率を見ると、Chevron が9.1%と最も高く、次いでExxonMobil(7.9%)、Total(5.4%)の3社が利益率5%を超えている。Shell は3.5%であり、BP は最も低い1.1%にとどまっている。BP の利益率はJXホールディングスなど日本の精製専業各社とほぼ同じ水準である。

4. 設備投資額



2014年の設備投資額が最も大きいのはChevron の403億ドルである。Chevron に次いでExxonMobil(385億ドル)及びShell(373億ドル)がほぼ並んでおりChevron よりも5%前後少ない。Total とBP の設備投資額はそれぞれ241億ドルおよび238億ドルでありトップの Chevron の6割にとどまっている。

5. 石油及び天然ガス生産量

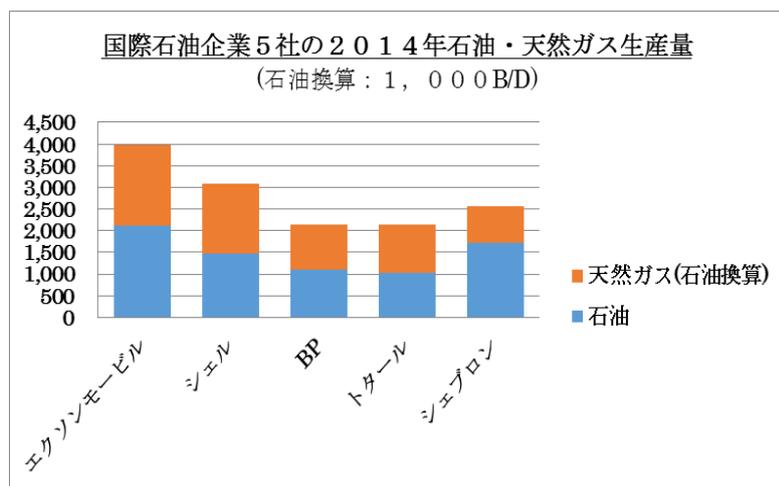
(1) 石油生産量

昨年の石油生産量が最も多かったのは ExxonMobil の2,111千 B/D であり、5社の中で同社だけが2百万 B/D を超えている。ExxonMobil に次いで生産量が多いのは Chevron(1,709千 B/D)、第3位は Shell(1,484千 B/D)である。両社と ExxonMobil を比べると Chevron は ExxonMobil の8割、Shell は7割である。BP 及び Total はこれら3社よりかなり少なく、BP は1,106千 B/D、Total は1,034千 B/D の石油を生産しており、これは ExxonMobil のほぼ半分である。

(2) 天然ガス生産量

天然ガスの生産量が最も多いのは ExxonMobil(日量11,145百万立方フィート、以下 mmcf)であった。2位以下は Shell(9,259mmcf)、Total(6,063mmcf)、BP(6,016mmcf)、Chevron(5,167mmcf)と続いている。Chevron は5社中で最も少なく、ExxonMobil の半分弱にとどまっている。

(3) 石油・天然ガス合計生産量(石油換算)



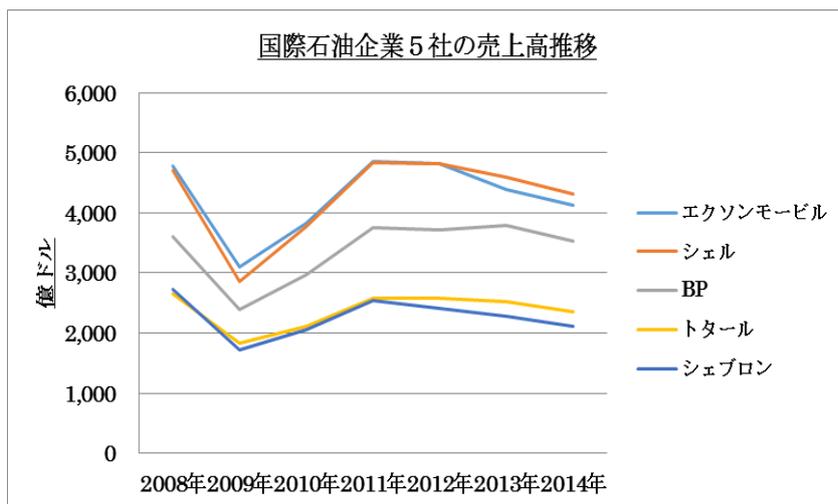
石油と天然ガスの合計生産量が最も多いのは ExxonMobil であり石油換算で3,969千 B/D である。ExxonMobil に次いで合計生産量が二番目に多いのは Shell(3,080千 B/D)であり、以下 Chevron(2,571千 B/D)、Total(2,146千 B/D)と続き BP(2,143千 B/D)が最も少ない。ExxonMobil の生産量を100とした場合、他の4社は Shell78、Chevron66、Total と BP は54であり Total 及び BP は ExxonMobil のほぼ半分となっている。

各社の石油と天然ガスの比率を見ると、Chevron は石油66%、天然ガス34%であり5社の中では石油の比率が最も高い。その他4社の石油：天然ガスの比率はそれぞれ、ExxonMobil(石油53%：天然ガス47%)、BP(石油52%：天然ガス48%)、Total(石油48%：天然ガス52%)、Shell(石油48%：天然ガス52%)であり、Chevron、ExxonMobil および BP の3社は石油生産量が天然ガス生産量を上回っているのに対して、Shell と Total は石油よりも天然ガスの生産量の方が多い。

III. 7力年(2008-2014年)業績推移の比較

ここでは2008年から2014年までの過去8年間の5社の業績の推移を比較検討する。因みに2008年は年央に Brent 原油の価格が史上最高の147ドル(バレル当たり)を記録、また年間平均価格も97ドルに達して石油5社が過去最高の業績を示した年である。

1. 売上高



2008年の売上高トップは ExxonMobil の4,774億ドルであり Shell が僅差の4,709億ドルの第2位であった。そして売上高第3位は BP(3,611億ドル)で、Chevron と Total は2,730億ドル及び2,647億ドルであった。5社の順位は2008年から2012年までの5年間は ExxonMobil がトップであった

が、その後2013年および2014年は Shell の売り上げが ExxonMobil を上回っている。ただし両社の差は小さく BP、Chevron および Total の3社とはかなりの差がある。7年間を通じて BP は ExxonMobil、Shell の8割前後であり、Chevron、Total2社はトップ2社の5割強の水準で推移している。

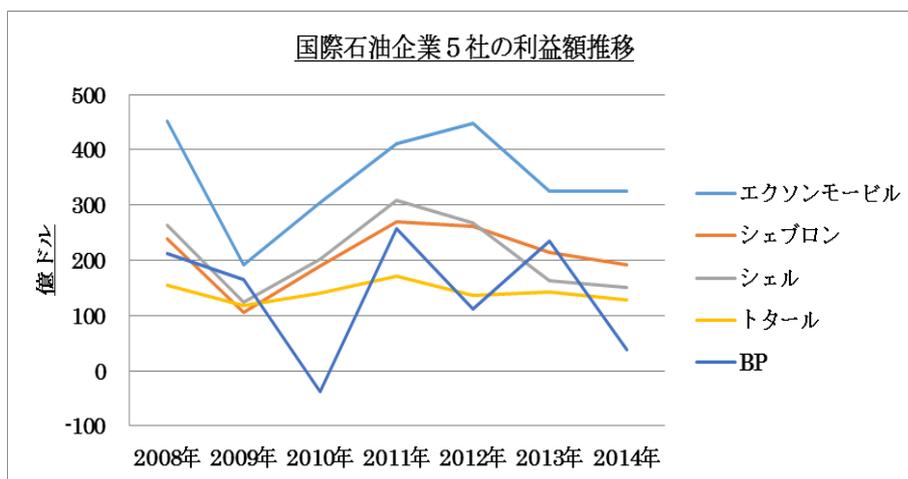
年毎に見ると2009年は各社とも前年比で大きく落ち込んでいる。これは2008年に原油価格が史上最高値となったが、同年9月にリーマン・ショックが発生、世界景気が一気に冷え込んだためである。2009年の原油平均価格は前年比で4割近く下落、販売量も落ち込んだため各社の売上高は ExxonMobil35%減、Shell40%減、BP34%減など軒並み30%以上の大幅な減収となった。

2010年以降は原油価格が持ち直し各社とも売り上げは回復、2011年には年間平均価格が100ドル(Brent)を超えたため ExxonMobil、Shell、BP の3社は2008年をしのぐ売上高となり、Total、Chevron もほぼ元に戻っている。2012年から2013年にかけては BP、Total は横ばいで、その他3社は5~10%程度の減収となった。しかし2014年には全社ともに前年比7%前後の減収となっている。これは2014年後半から石油価格が急激に下落したことが大きな要因である。

2008年の売上高を100とした場合、2014年の各社の売上高は ExxonMobil86、Shell92、BP98、Total89、Chevron78といずれも2008年の水準を下回っている。現在石油価格は2014年前半の半値以下となり価格回復の足取りも鈍いため2015年の各社売上高がさらに落ち込むことは避けられないであろう。

2. 利益

2008年から2014年までの5社の利益の推移を見ると、2008年は ExxonMobil が452億ドルの利益を計上、Shell(263億ドル)、Chevron(239億ドル)、BP(212億ドル)、Total(156億ドル)に比べ Total の3倍、BP の2倍等、他社を寄せ付けない圧倒的な収益力を誇った。



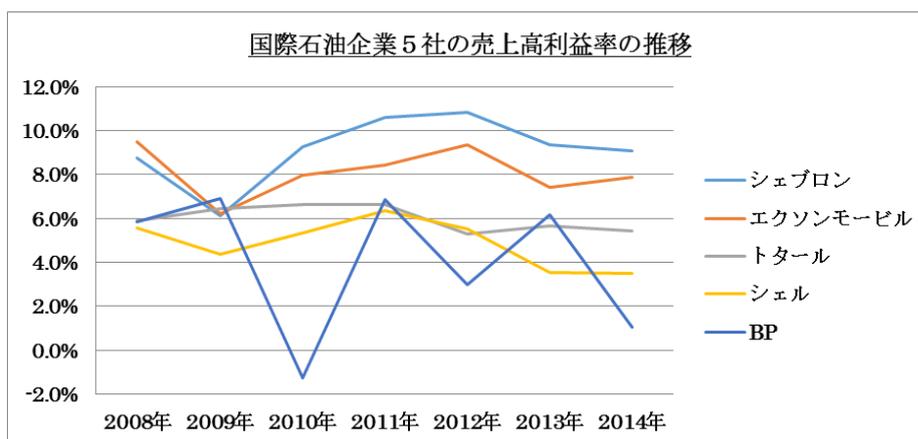
翌年の2009年にはリーマン・ショックと油価の急落によりExxonMobilの利益は前年比で半減するなど各社とも利益が100億ドル台に急減、5社間の利益格差は一気に縮まった。2010年から2011年にか

けては5社とも利益が急回復し、ExxonMobilは400億ドル台の利益を計上し、その他の4社は2008年を超える利益であった。

しかし2012年以降は各社によって利益水準はまちまちとなっている。ちなみに2012年はExxonMobilだけが前年を上回る利益を計上したが、その他の4社の利益はいずれも前年を下回った。そして2013年にはExxonMobil、Chevron および Shell の利益が減少する中で、Total は横ばい、BP は大きく回復して ExxonMobil に次ぐ235億ドルの利益を計上している。

2014年は5社とも利益は前年を下回り、特に BP は大幅に悪化している。BP の場合、過去7年間の利益は2008年の212億ドル以降、166億ドル(09年)→マイナス37億ドル(10年)→257億ドル(11年)→113億ドル(12年)→235億ドル(13年)→38億ドル(14年)と揺れ幅が大きく業績が不安定であることを示している。

3. 売上高利益率



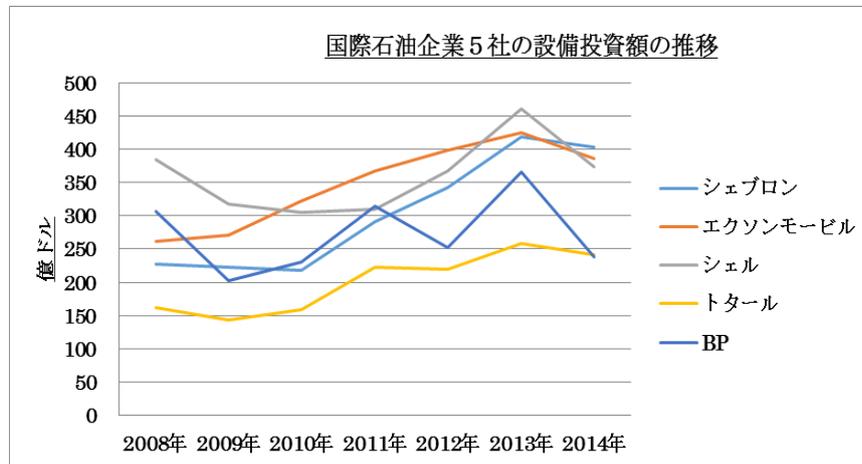
過去7年間を通じて売上高利益率が高いのは ExxonMobil と Chevron である。ExxonMobil は9.5%(08年)→6.2%(09年)→7.9%(10年)→8.4%(11年)→9.3%(12年)→7.4%(13年)→7.9%(14

年)と 2009年には落ち込んだものの7~9%前後をコンスタントに維持しており、また Chevron も8.8%(08年)→6.1%(09年)→9.3%(10年)→10.6%(11年)→10.8%(12年)→9.4%(13年)→9.1%(14年)と時には10%を越えて ExxonMobil を上回る利益率を示している。

Shell、BP、Total の利益率は2008年は6%弱でほぼ並んでいた。BP は2009年には6社中で最

も高い利益率(6.9%)を示したが、翌年は一転して5社の中で唯一マイナスの利益率(-1.3%)を示し11年以降は6.8%(11年)→3.0%(12年)→6.3%(13年)→1.1%(14年)と不安定な状態である。Shell及びTotalは2011年以降利益率の低下に悩まされており、Shellの2013年の利益率は3.6%と5社の中で最も低く2014年も利益率は3.5%にとどまっている。

4. 設備投資



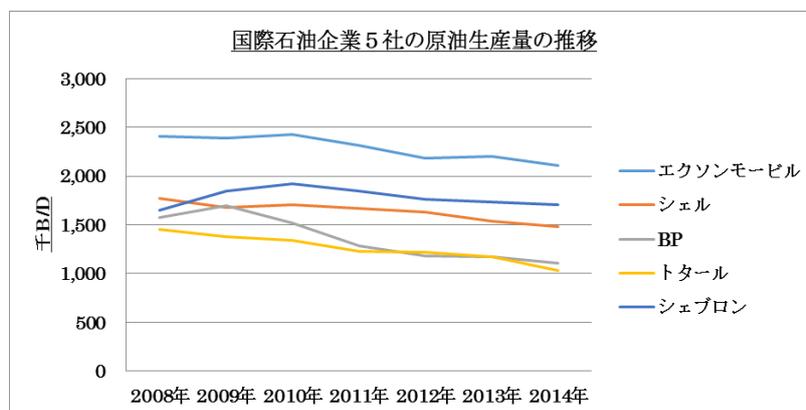
2008年の設備投資額はShellが384億ドルで最も多く、BP(307億ドル)、ExxonMobil(261億ドル)、Chevron(228億ドル)と続きTotalは163億ドルで最も少なかった。翌2009年にはShellとBPの2社は投資額が大幅に減少しているが、Shellは引き続き6

社の中では最も多い317億ドルであった。2009年以降は各社おしなべて設備投資額が増加する傾向にあり、2013年には5社とも2008年の投資額を上回っている。2008年と2013年を比較した場合、特にChevronは1.8倍、ExxonMobil、Totalは1.6倍など大きく膨れ上がり、Shell及びBPも1.2倍である。

しかし2014年は各社とも設備投資を抑えている。5社の投資額は最も多いChevronが403億ドル、ExxonMobilおよびShellが380億ドル前後、そしてTotalとBPが240億ドル前後である。次項(石油・ガス生産量の推移)に見るごとく、BPのように生産量が大幅に減少しているケースを含め各社とも減少に歯止めがかからず、投資に見合った埋蔵量の積み増しや生産量の増加が得られていない。昨年後半から石油価格の暴落により売上および利益が急落したこともあり各社とも設備投資を削減する方向にある。

5. 石油及び天然ガス生産量

(1)石油生産量



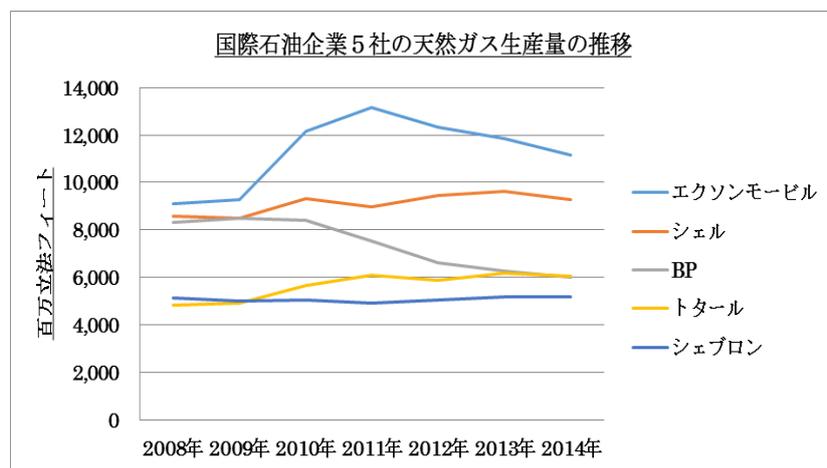
5社の2008年から2014年までの石油生産量の推移を見ると、7年間を通じてExxonMobilは他の4社を大きく引き離している。同社の生産量は2,405千B/D(08年)→2,387千B/D(09年)→2,422千B/D(10年)→2,312千B/D(11年)→2,185千

B/D(12年) →2, 202千 B/D(13年) →2, 111千 B/D(14年)と常に2百万 B/D 以上を維持しているが、これに対して他の4社は7年間を通じていずれも百万 B/D 台である。

ExxonMobil 以外の2008年の生産量は Shell1, 771千 B/D、Chevron1, 649千 B/D、BP1, 575千 B/D、Total1, 456千 B/D で4社間に大きな差は無かった。その後 Chevron が2009年、2010年と生産量を増やし、ExxonMobil に次ぐ第2位の生産量を誇っている。しかし2010年以降5社はいずれも毎年生産量が減少し続けており、2014年の各社の生産量はExxonMobil2, 111千 B/D、Chevron1, 709千 B/D、Shell1, 484千 B/D、BP1, 106千 B/D、Total1, 034千 B/Dに落ち込んでいる。

2008年の生産量を100とした場合、2014年の各社生産量はExxonMobil 88、Chevron 104、Shell 84、BP 70、Total 71であり、5社の中で Chevron のみが2008年を上回っているが、他の4社は7年前の生産量を下回っている。特に Total および BP の減少幅が大きい。

(2)天然ガス生産量



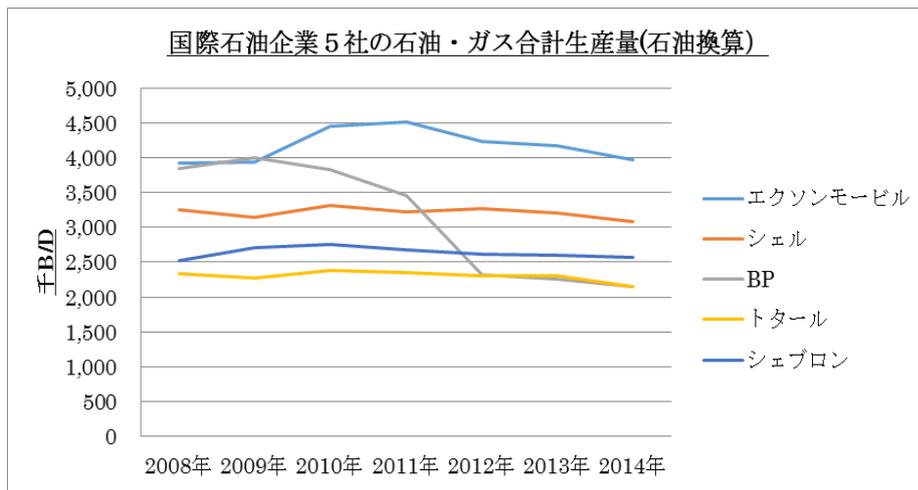
2008年から2014年までの天然ガスの生産量は各社で明暗が分かれている。2008年の生産量は ExxonMobil、Shell 及びBPが80~90億立法フィート/日(以下 cfd)でほぼ並んでおり、Total とChevronは50億 cfd 前後であった。その後 ExxonMobil は生産量が急激に伸び、また

Shell 及び Total も漸増傾向を示したのに対し、BP は大幅に減少、Chevron は横ばいにとどまっている。最近数年間では ExxonMobil および BP の生産量が大幅に低下、Shell、Chevron および Total の3社は現状維持の状況である。

その結果、2014年の各社の生産量は ExxonMobil111億 cfd、Shell93億 cfd、Total61億 cfd、BP60億 cfd、Chevron52億 cfd となり、トップの ExxonMobil とBP、Total、Chevron の格差は2倍前後に開いている。

(3)石油・天然ガス合計生産量(石油換算)

石油と天然ガスの合計生産量(石油換算)を見ると、2008年には ExxonMobil(3, 921千 B/D)とBP(3, 838千 B/D)が並び、これに Shell が3, 248千 B/D で続き、Chevron(2, 530千 B/D)とTotal(2, 341千 B/D)は2百万 B/D 台であった。



2014年までの7年間でBPは2百万B/D近くまで急減、その他4社はほぼ横ばい乃至やや下降気味である。上記(1)石油生産量及び(2)天然ガス生産量の推移からもわかるとおり、BPは石油、天然ガスともに激減しており、

ExxonMobil、Shell、Total の3社は石油の落ち込みを天然ガスの増加でカバーして横ばいを維持している状況である。

(完)

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601

Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642

E-mail; maedat@r6.dion.ne.jp

2014年第4四半期(10-12月)及び通年(1-12月)国際石油企業の業績

年		ExxonMobil	Shell	BP	Total	Chevron
売上高(百万ドル)	2014年10-12月	87,276	94,166	73,997	52,511	46,088
	前年同期	110,860	111,479	93,717	64,975	56,158
	増減(%)	-21.3%	-15.5%	-21.0%	-19.2%	-17.9%
	2014年1-12月	411,939	431,344	353,568	236,122	211,970
	前年1-12月	438,255	459,599	379,136	251,725	228,848
	増減(%)	-6.0%	-6.1%	-6.7%	-6.2%	-7.4%
利益(百万ドル)	2014年10-12月	6,570	773	-4,407	2,801	3,471
	前年同期	8,350	1,781	1,042	3,385	4,930
	増減(%)	-21.3%	-56.6%	-522.9%	-17.3%	-29.6%
	2014年1-12月	32,520	15,052	3,780	12,837	19,241
	前年1-12月	32,580	16,371	23,451	14,292	21,423
	増減(%)	-0.2%	-8.1%	-83.9%	-10.2%	-10.2%
売上高利益率(%)	2014年10-12月	7.5%	0.8%	-6.0%	5.3%	7.5%
	前年同期	7.5%	1.6%	1.1%	5.2%	8.8%
	2014年1-12月	7.9%	3.5%	1.1%	5.4%	9.1%
	前年1-12月	7.4%	3.6%	6.2%	5.7%	9.4%
原油・ガス生産量 (石油換算 1,000B/D)	2014年10-12月	4,054	3,213	2,187	2,229	2,582
	前年同期	4,216	3,251	2,246	2,284	2,576
	増減(%)	-3.8%	-1.2%	-2.6%	-2.4%	0.2%
	2014年1-12月	3,969	3,080	2,143	2,146	2,571
	前年1-12月	4,175	3,199	2,256	2,299	2,597
	増減(%)	-4.9%	-3.7%	-5.0%	-6.7%	-1.0%
設備投資(百万ドル)	2014年10-12月	10,464	9,651	6,734	6,409	11,290
	前年同期	9,924	16,332	7,219	8,739	12,958
	増減(%)	5.4%	-40.9%	-6.7%	-26.7%	-12.9%
	2014年1-12月	38,537	37,339	23,781	24,140	40,316
	前年1-12月	42,489	46,041	36,612	25,879	41,877
	増減(%)	-9.3%	-18.9%	-35.0%	-6.7%	-3.7%